

# 競技注意事項

## 1 競技規則について

本大会は、2024年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項によって実施する。  
競技用シューズについて、小学生種目は競技規則 TR5.2 を適用しない。

## 2 練習について

- (1) 練習は、サブトラック（競技場南の手柄山中央公園）を使用すること。ただし、フィールド競技の練習は禁止する。  
フィールド競技の練習は、招集完了後、競技役員の指示により競技場内で行う。
- (2) サブトラックの使用上の注意は下記の通りとする。
  - ア) レーンが少ないので、ウレタン舗装路でのジョグはしない。
  - イ) レーンは左回りのみで、逆走はしない。
  - ウ) ハードルの練習は西側（直線6レーン）の外側2レーンで行う。
  - エ) サブトラック-競技場間の移動は、安全を考慮し、できる限り歩道橋を利用すること。

## 3 招集について

- (1) 招集所は第2ゲート入口付近に設ける。
- (2) 各種目の招集開始時刻・完了時刻は、プログラム記載の競技日程欄を参照すること。
- (3) 招集の手順について
  - ア) 競技者は招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。その際アスリートビブスとシューズの点検を受ける。  
このときに点呼に応じない者、招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権とみなし処理する。  
※スパイクピンの長さ 走高跳・やり投：12 mm 以内 その他：9 mm 以内  
※ランニングシューズのソールの最大の厚さ 800 m 以上のトラック種目：25 mm 以内  
上記以外のトラック種目・フィールド種目：20 mm 以内
  - イ) 代理人による点呼は認めない。ただし、2種目以上にわたって同時刻に出場する競技者は、あらかじめ本人が競技者係へ多種目同時出場届（招集所備え付・姫路市陸協 HP 掲載）を提出し、併せて招集に来ることができない種目の点呼（アスリートビブスとシューズの点検）を受けておくこと。
  - ウ) トラック競技に出場する選手は競技者係で腰ナンバーカードを受け取り、右腰につけて競技に出場すること。
    - ・400m 以下：シールタイプのもの。各自で処分すること。
    - ・800m 以上：布タイプのもの。ゴール後、ナンバーカード係へ返却すること。
  - エ) 当該種目を欠場する者は、あらかじめ欠場届（招集所備え付・姫路市陸協 HP 掲載）を競技者係に提出すること。

## 4 競技について

- (1) トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順はプログラム記載順とする。
- (2) 100m、200m は、予選・準決勝・決勝とする。
- (3) 400m、800m、1500m、100mH、110mH、400mH、4×100m、4×400m は、予選・決勝とする。
- (4) 男子5000m、女子3000m、男子3000mSC、男女5000mW は、別ビブスを使用し、終了後アスリートビブス係に返却する。
- (5) タイムによる次のラウンドに進む出場者の決定について、最終枠に同記録（1/100 秒単位）がある場合は、1/1000 秒単位の実時間を判定して出場者を決定する。それでも決定できない場合は、本人または代理人により抽選で決定する。
- (6) 小学校のリレーは、スターティングブロックを使用してもよい。
- (7) 男女5000mW については、競技運営の都合上、35分を超えた場合、次の周回に入らず競技を打ち切る場合がある。
- (8) フィールド競技については、競技運営の都合上、計測ラインを設ける。
- (9) リレーについて
  - ア) オーダー用紙はプログラム巻末にあるものを利用し、下記の時間に情報処理係（本部記録室）へ提出する。

	予選	決勝
小学男子・女子4×100m		第1日 10:35~11:35
男子・女子4×100m	第1日目 7:50~8:30	13:15~14:15
男子・女子4×400m	第2日目 7:50~8:30	13:05~14:05

- イ) 4人のユニフォームは上下同一デザイン・配色のものとする。

- (10) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は下記のとおりとする。ただし、気象条件により変更する場合がある。

男子走高跳	1.65(練)	1.70-1.75-1.80-1.85.....以降3cm単位で上げる
女子走高跳	1.35(練)	1.40-1.45-1.50-1.55.....以降3cm単位で上げる
男子棒高跳	3.00(練)	3.20-3.40-3.60-3.80-4.00-4.20-4.40...以降10cm単位で上げる
女子棒高跳	1.80(練)	2.00-2.20-2.40.....以降10cm単位で上げる

\* 第1位が同成績の場合の順位決定は、走高跳では2cm、棒高跳では5cmの幅でバーを上げ下げする。

- (11) 競技中、競技区域内に携帯電話・スマートフォン・タブレット等の機器を持ち込むことはできない。また、競技区域内で助力を与えたり受けたりしている競技者は失格の対象となる。  
フィールド競技では競技場所に近接した観客席の一角にコーチ席を設ける(コーンで区画する)。選手とコミュニケーションをとる、動画再生機器で録画画像を見る場合は、この場所でおこなうこと。走幅跳・三段跳において、動画再生機器をスタンドから身を乗り出して手渡しをする、紐などをくくりつけて渡すなど、危険な行為はしないこと。

## 5 競技用具について

- (1) 棒高跳用ポール・やり以外の競技用具は、全て主催者が用意したものを使用しなければならない。
- (2) やりは競技場備え付けのものを用意するが、自己のものを使用する場合は、下記の検査場で検査時刻に検査をうけること。ただし、検査後は主催者で預かり出場者全員で共用できるものとする。
  - ・検査場所：1F 玄関ロビー
  - ・検査時刻：男子 第2日目 9:00~9:15 女子 第2日目 12:00~12:15
- (3) リレーのマーカ―(最大5cm×40cmの養生テープ)、走高跳のマーカ―(養生テープ)は各自で用意すること。  
リレー競技は競技終了後、必ず自チームのマークを前走者が取り除くこと。

## 6 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは2024年度登録番号を使用する。
- (2) 中学生と小学生については各チーム番号または個人番号を使用する。

## 7 表彰について

種目別3位までの表彰を行う。入賞者は、各競技終了後ただちに1F 玄関ロビーの表彰席に集合すること。

## 8 その他

- (1) メインスタンドにシートを敷くことを禁止する。
- (2) 競技結果および次のラウンドへの出場資格者、番組編成は場内アナウンスによって発表する。また、姫路市陸協のWEBにも掲載する。(掲示板への掲示は行わない)
- (3) 競技開始後は、競技役員・補助員・選手以外は許可なく競技場内に入ることを禁止する。
- (4) 競技中に発生した傷害、疾病について、主催者は傷害保険に加入の範囲内および現場での応急救置以外の責任は一切負わない。
- (5) 盗難には、個人、各団体で十分注意すること。万一盗難にあった場合、主催者はその責任を負わない。  
拾得物については選手受付係(第2ゲート前受付テント)で保管する。
- (6) ゴミは、必ず各自で持ち帰ること。

## 9 事務連絡

- (1) 個人、各団体で必ず受付をすること。受付は、第2ゲート付近で7:20から行い、プログラムを配布する。
- (2) 競技場の開門時刻は、7:30とする。交通妨害や事故防止のために、早朝より並ばないように注意すること。
- (3) 競技場には駐車場がないので、手柄山付近の有料駐車場を使用すること。(普通車1日200円)
- (4) 別紙の「第33回姫路陸上競技選手権大会 連絡事項」を必ず確認すること。